

## 診療上の情報公開文書

実施内容	高濃度カリウム製剤の使用（投与）
医薬品名称	・ KCL 注 20mEq キット（塩化カリウム） ・ アスパラギン酸カリウム注 10mEq キット（アスパラギン酸カリウム）
診療科	全診療科
承認日	2024 年 7 月 8 日
対象期間	承認後からマニュアルなどの見直しの必要性が生じるまで
対象患者	当院で治療を受ける、低カリウム血症を来した患者
目的・概要	<p>低カリウム血症を来した場合には、カリウムの補充と行います。カリウム補充に用いる薬には内服薬と注射薬がありますが、内服が難しい場合や速やかな補充が必要な場合には注射薬が用いられます。注射薬である KCL 注やアスパラギン酸カリウム注の添付文書には使用方法について以下のように記載されています。</p> <p>①カリウムとして 40mEq/L 以下に希釈して投与すること ②投与速度はカリウムとして 20mEq/時間を超えないこと ③カリウムの総投与量は 1 日 100mEq を超えないこと</p> <p>しかしながら、生命維持のために速やかなカリウム補充が必要な場合には、より高濃度でカリウムを投与する場合があります。当院では、ICU、HCU、CCU、SICU、手術センター、血液浄化センターにおいてルールを設け、それに従って高濃度のカリウム注射薬で補充を行う場合があります。</p>
予想される不利益と対策	<p>カリウム補充により、予想より血清カリウム値が上昇することがあります。その場合、不整脈や心不全をきたす恐れがあるため、状態に応じて心電図モニターを装着して不整脈の有無について注意深く確認します。また、血清カリウム値を確認し、高値であれば直ちに減量又は中止します。低カリウム血症の改善が確認された時点で高濃度カリウム製剤の使用は終了し、その後は添付文書に定められた投与方法に移行します。</p>
問い合わせ先	JA 愛知厚生連 安城更生病院 検査治療を担当している各診療科の医師、薬剤部、医療安全管理部 電話：0566-75-2111（代表）

作成日：2024 年 7 月 5 日